

きんもくせい

病院日より

vol.121

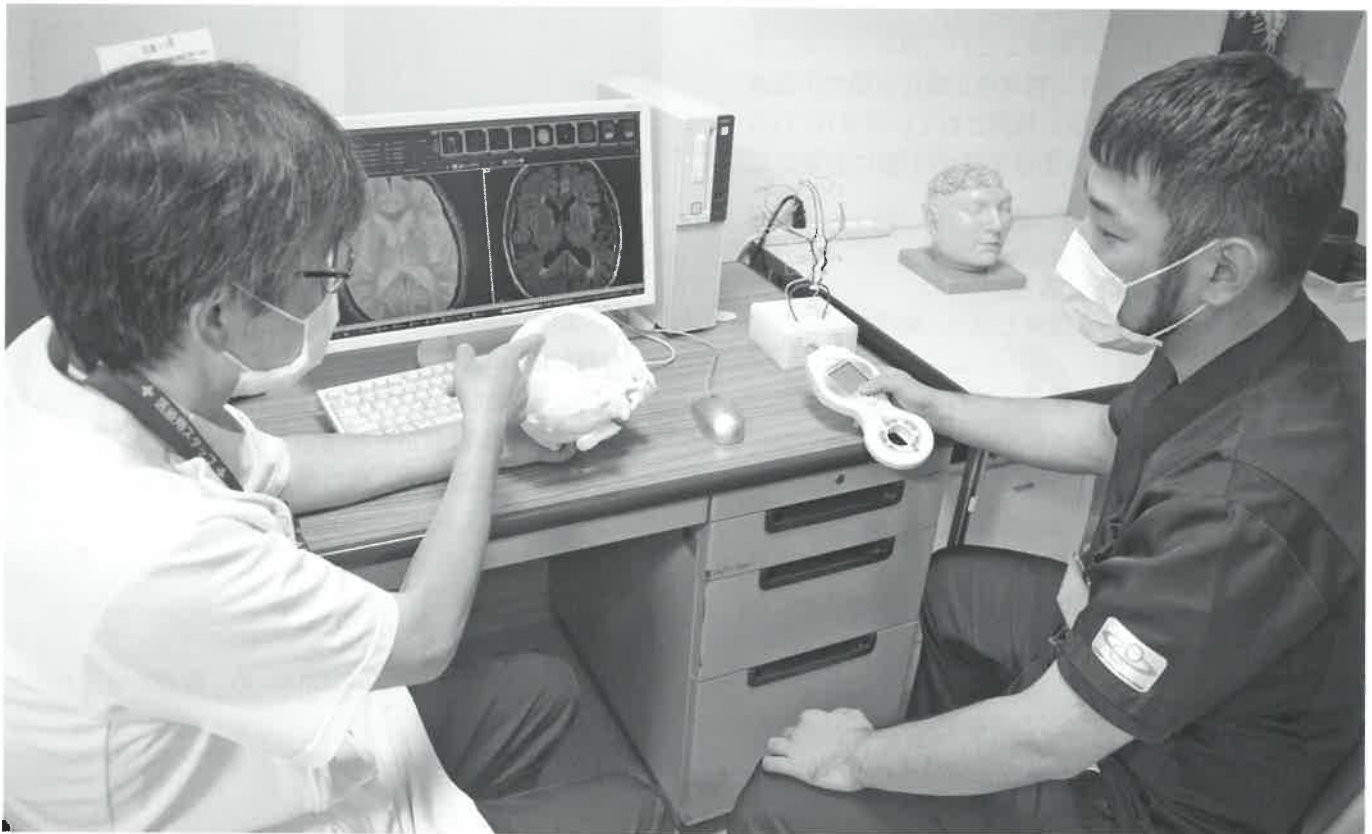
令和5年
7月号



10周年、そして未来へ

その認知症、諦めていませんか？

手術で回復する認知症～特発性正常圧水頭症～



▲ 診療について話し合いをする様子

同じ話を1日に何度もする、以前に比べて怒りっぽい……。認知症だから仕方がないと考えている方も多いのではないのでしょうか？その認知症、もしかしたら治せる認知症かもしれません。

高齢化が進み、認知症になる方が増えてきています。認知症の種類として、アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、レビー小体型認知症が大部分を占めます。基本的に認知症を完全に治す治療はまだありません。しかし、治りにくい認知症がある一方、治療をすればよくなる認知症があります。

「特発性正常圧水頭症」。この病気は治療をすればよくなる認知症の一つです。特発性正常圧水頭症になると、小股でよちよち歩くといいた歩行障害、もの忘れや記憶力の低下といった認知障害、尿失禁といった排尿障害が現れます。高齢者で発症する特発性正常圧水頭症は、高齢化に伴い、近年増加しており、実に65歳以上の1%がこの病気にかかっていると言われていています。しかし、加齢によって現れる症状と似ているため、適切に診断され、治療を受けている方はそのうちの数%と言われていています。まずは、正しい知識を身につけて、早期発見、早期治療につなげましょう。

今月号は、特発性正常圧水頭症の治療について詳しく解説します。

特発性正常圧水頭症について

脳神経外科統括診療部長 **鳥飼 武司** 医師
臨床研修センター **村林 直樹** 医師

特発性正常圧水頭症とは

特発性正常圧水頭症は、高齢者に多くみられ、緩やかに進行する脳の病気です。脳は頭の中で脳脊髄液という液体の中に浮いています。特発性正常圧水頭症では、原因はわかりませんが、この水が頭（脳室）にたまって、脳が圧迫されてしまい、歩みにくさ、もの忘れ、尿漏れなどの症状が現れます。その結果、日常生活に支障が生じ、生活の質が低下します。これらの症状は適切な治療によって改善する可能性がありますが、加齢によって現れる症状にも似ているため、しばしば見落とされ治療を受けることができない患者さまもいます。特発性正常圧水頭症の患者さまは、全国に約 37 万人いると推測されていますが、しっかりと診断され治療にいたるのは全体の 1 割にも満たないのが現状です。

特発性正常圧水頭症の症状

特発性正常圧水頭症には 3 徴候という、特徴的な 3 つの症状があります。

①歩行障害

膝が上がらず、すり足になる、小刻みになる、ガニ股になるなど、歩行が不安定になり転びやすくなります。うまく歩き出せない、止まることができないといった症状もみられることがあります。3 徴候のうち、最初にみられることが多く、転倒によって特発性正常圧水頭症が発見されることもあります。

②認知機能の低下

記憶力や判断力、注意力などの認知機能が低下します。意欲も低下し、一日中ぼーっとすることが増えて趣味や日課などにも無頓着になります。だんだんと物事を思い出すのが難しくなったり、考えるのに時間がかかったりします。認知症になる原因の 5% を占めます。

③尿失禁

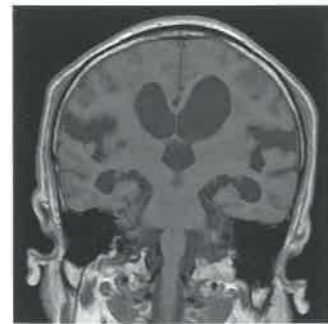
尿のコントロールが難しくなります。トイレが非常に近くなったり、我慢できる時間が短くなったりします。また歩みにくさのためにトイレに間に合わず漏らしてしまうことがあります。

特発性正常圧水頭症の診断

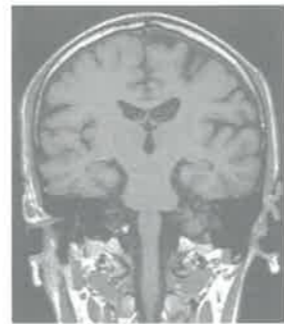
当院では、まず脳神経内科もしくは脳神経外科の医師が、患者さまやご家族から詳しくお話を伺います。患者さまに起こっていることは何か、特発性正常圧水頭症の 3 徴候がないかをとらえます。リハビリテーション科では、実際に歩いてもらって、歩みにくさがどれくらいあるか観察し、もの忘れ外来では、もの忘れがどれくらい進

んでいるのかを検査し、連携して診察をします。

脳の画像検査（MRI）では、脳室とよばれる脳脊髄液がたまっている空間の大きさや、脳の圧迫具合を検査します。同時に、脳梗塞や脳腫瘍など他の病気はないかも診ていきます。



▲ 水頭症患者の脳の画像
脳の真ん中に見えるのが「脳室」



▲ 正常な脳の画像

MRI で頭に水が溜まっている（脳室の拡大）のが確認できた場合、必須ではありませんが、髄液タップテストという試験を行います。具体的には、患者さまに寝てもらい、腰から背骨の隙間に針を刺し、間接的に、頭の中にとまっている脳脊髄液を 30mL 程度抜き取ります。これによって症状が改善するかを、数日から 1 週間注意深く観察します。タップテストで症状の改善がみられる場合は手術で症状がよくなると考えられます。

特発性正常圧水頭症の治療

薬による治療は今のところないため、髄液シャント術という手術が行われます。

太さ 2mm のカテーテルを脳室に挿入して、余分な脳脊髄液を排出し、圧迫されている脳を正常に戻します。カテーテルを皮下に通して、お腹（腹腔）まで誘導し、余分な脳脊髄液が腹腔内で吸収される VP シャントを行います。他に、腰から背骨の中にカテーテルを入れ、脳脊髄液を



▲ LP シャント術後の腹部 CT を 3D に再構成した画像

お腹に排出する LP シャントが行われます。どちらの手術も脳神経外科の手術としては比較的短い時間で行われる手術で、手術時間の目安は 1 ～ 2 時間です。脳脊髄液を排出する量は、細やかに調節することが可能です。

シャント術の合併症として、感染、カテーテルの閉塞、脳脊髄液の過剰流出などがあり、約 18% で起こるとされています。

手術後のリハビリテーションも重要です。リハビリテーションでは、歩行やバランスのトレーニング、認知機能の向上を目指す訓練が行われ、症状の改善の確認を行います。手術のための入院はリハビリテーションの期間も含めて 10 日間程度となることが多いです。

手術の後

特発性正常圧水頭症は、早いうちに治療をする方が、症状が改善しやすいことが分かっています。シャント術後の 3 徴候の改善率は、おおよそ、歩行障害で 7 割、認知障害で 6 割、排尿障害で 5 割とされています。

術後も良い状態を維持するために、シャント圧を調整する必要があります。定期的に検診することになります。

手術による改善がどの程度長続きするかは、アルツハイマー病、パーキンソン病、脳卒中やがんなどを併存しているかによって大きく異なるため、予測することはできません。つまり、良い状態を維持できる患者さまもいれば、残念なことに再び症状がぶり返す患者さまもいます。

特発性正常圧水頭症はすぐに命にかかわる病気ではありませんが、転倒による骨折で寝たきりになってしまうこともあり、また、もの忘れや尿失禁などの症状によって、患者さま本人の辛さだけでなく、患者さまをサポートするご家族の負担を増やしてしまうことがあります。患者さま、そしてご家族の Quality of Life（生活の質）を維持するために、特発性正常圧水頭症に対するシャント術は極めて有効です。



▲ カンファレンスの様子

看護部通信

暑い夏！熱中症を予防しましょう

熱中症は、高温多湿な環境下で、体内の水分や塩分（ナトリウムなど）のバランスが崩れたり、体内の体温調整機能が乱れたりすることが原因で起こります。

これからの時期は熱中症になる可能性が高まります。熱中症になりやすい状況を知り、予防と対策を心掛けましょう。



1. 熱中症になりやすい状況

- 梅雨時期から真夏にかけて、熱中症のピークになります。
- 天気が良く気温が上がった日に長時間、外で作業や運動をする場合は、より早く熱中症になる可能性があります。
- 男性の発症が多く、子どもや10代、20代ではスポーツ、30代以上は屋外の作業などで発症頻度が上がります。
- 高温多湿な環境で水分をとらずにスポーツや重労働などを続けると、発症率や重症率が高まると言われています。
- 高齢者は性別を問わず体内の水分量が少なく、さらに暑さに対する感覚・体温調整機能の低下から、室内でも熱中症を起こしやすくなります。

2. 熱中症の予防と対策

- スポーツや重労働などをするときには、こまめな水分摂取や休憩を心掛けてください。
- 室内の換気や扇風機・エアコンを活用するなど、温度や湿度を調節しましょう。
- 汗を拭き、熱がこもらない涼しい服装にしましょう。
- 外では、日傘や帽子で直射日光を避けましょう。
- 頭痛、めまい、だるさ、吐き気などの症状が出た場合は、涼しい場所で休み、水分や塩分を摂取しましょう。
- 自分で水が飲めない、意識がはっきりしないなどの症状が出た場合は、すぐに医療機関を受診してください。

新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に移行され、今年の夏はスポーツ大会や屋外でのイベントの開催が予定されています。熱中症対策をして、楽しい夏を過ごしましょう。



『10周年、そして未来へ』

中東遠総合医療センターは開院10周年を迎えました

開院10周年記念事業 「みんなでつくる健康かるた」

市民の皆さまと一緒に健康への気付きや学びのきっかけを作ることを目的に、地域の皆さまから読み句を公募して、当院オリジナルかるたを作成します。
皆さまからの投稿、お待ちしております。



応募条件

対象: どなたでも
応募数: 「あ」～「ん」どの音でも、1音から受け付けます。
 50音すべての音で応募いただいてもOKです。
文字数: 20文字以内
内容: 健康や中東遠総合医療センターにまつわる内容のかるたの読み句

賞品

句が選ばれた方: 完成した健康かるたをプレゼント
優秀作品10点: クラウンメロン、お茶等の地場産品つめあわせ

同時募集

当院スタッフへのメッセージ
 スタッフが前向きに地域医療に向き合うことができるようなメッセージをお願いします。

応募方法

応募フォーム・FAXにて応募ください。
応募メ 切: 8月20日
応募フォーム: QRコードから **FAX:** 053-456-2409
受付事務所: SBSプロモーション浜松支社 ※詳細は当院ホームページをご確認ください。

【応募フォーム】



▲申込はこちら

職員を募集しています！

当院では様々な職種の職員を募集しています。
 医療に関わるすべてのスタッフが職種の強みを存分に発揮し、患者中心の理想的なチーム医療を目指しています。
 医療のプロフェッショナルとして、ともに高みを目指す、そんなみなさんからの応募をお待ちしています。

現在募集中の職種

正規職員

看護師（経験者）、薬剤師、理学療法士、
 作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、
 臨床工学技士、視能訓練士、公認心理師



▲ 薬剤師



▲ 臨床工学技士



▲ 詳細はこちら

5月の診療実績

1日あたりの患者数	入院	378人	病床利用率	75.7%
	外来	1,144人	平均在院日数	8.8日
紹介率	87.0%	手術件数	513件	
逆紹介率	96.2%	救命救急センター受診数	1,391人	
		救急搬送件数	554件	



病院だより「きんもくせい」は、中東遠総合医療センター、掛川・袋井両市役所及び一部の市内公共施設にて無料で配布しております。

ホームページ <https://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/>

過去の病院だよりをホームページでご覧いただけます。 [中東遠](#) [検索](#)



〒436-8555
 掛川市菖蒲ヶ池1番地の1

TEL 0537-21-5555



日本医療機能評価機構
 認定第 JC2093 号

スマートフォン・タブレットからアクセスする際には QR コードをご利用ください